

第1回 日本ホラー映画大賞 大賞受賞作！ 映画『みなに幸あれ』の劇場公開について

2021年に「日本ホラー映画大賞」を受賞した、福岡フィルムコミッション支援映画『みなに幸あれ』が、この度、劇場公開を迎えますのでお知らせします。

福岡で撮影された本作は、今最も注目を集める俳優の一人である古川 琴音さんが主演を務め、『呪怨』等多くの名作を手掛ける日本ホラー界の重鎮である清水 崇さんが総合プロデュースを手掛けた話題作です。

メディアのみなさまにおかれましては、是非記事にさせていただきますようお願いいたします。

■上映について

【スケジュール】 令和6年1月19日(金)～
上映 12:05～
13:50～
19:55～

【会場】 kino cinema 天神
(中央区警固1-15-38 カイタックスエアガーデン 1号棟3階)

■作品情報

『みなに幸あれ』
(89分/R15+/日本)

配給：KADOKAWA

監督：下津優太

出演：古川琴音、松大航也 ほか

予告編：<https://www.youtube.com/watch?v=ZQg7AmZXrCk>

ホームページ：<https://movies.kadokawa.co.jp/minasachi/>

受賞：**プチョン国際ファンタスティック映画祭 最優秀アジア映画賞**
モンスターズタラント・ホラー・フィルムフェスティバル 最優秀監督賞
T0ホラーファンタスティック・フィルムフェスティバル 審査員特別賞

下津監督をはじめ多くの
福岡キャスト・スタッフで制作！



予告編



©2023「みなに幸あれ」製作委員会

■あらすじ

看護学生の孫は、ひょんなことから田舎に住む祖父母に会いに行く。久しぶりの再会、家族水入らずで幸せな時間を過ごす。しかし、どこか違和感を覚える孫。祖父母の家には「何か」がいる。そしてある時から、人間の存在自体を揺るがすような根源的な恐怖が迫ってくる……。



映画「みなに幸あれ」
劇場情報(全国)

■主なロケ地

明治通り(博多区中洲)、西福岡マリナタウン

※福岡フィルムコミッションはロケ地の調整やエキストラの募集等支援を行いました。

◆ このリリースに関するお問い合わせ先 ◆

福岡フィルムコミッション事務局
(経済観光文化局コンテンツ振興課内)

担当：的野、古瀬

TEL 092-733-5171(内線1803) FAX 092-711-4354

Mail contents.EPB@city.fukuoka.lg.jp

◆ 作品に関するお問い合わせ先 ◆

CHINZEI 合同会社 (担当：古賀)

Mail koga@chinzei.jp

地球上の幸せには、限りがある――

みなしお

第1回 日本ホラー映画大賞 大賞受賞!
世界が注目する新世代監督が、遂に「ホラー」の歴史を塗り替える!

古川琴音

松大航也 大山真子 西田優史 吉村志保 橋本和雄 野瀬恵子 有福正志

原案・監督・編集: 下津優太 総合プロデューズ: 清水崇

脚本: 角田ルミ 音楽: 香田悠真

主題歌: 「Endless Etude (BEST WISHES TO ALL ver.)」 Base Ball Bear 

製作: 菊池剛 五十嵐淳之 企画: 工藤大史 プロデューサー: 小林剛 中林千賀子 下田桂子

助監督: 毛利安季 川松高良 統括: 古賀芳彦 撮影: 岩淵隆斗 照明: 中嶋裕人 録音: 飯谷英司 美術: 松本慎太郎 スタイル: 上野圭助 メイク: 木戸友子 CG: 橋岡史

配給: KADOKAWA 制作プロダクション: アースタープロジェクト 製作: KADOKAWA ユービーシー・ケー PEEK A BOO

<https://movies.kadokawa.co.jp/minasachi/> X@Minasachi_movie 

第56回 シツセス・カタロニア
国際ファンタスティック映画祭
コンペティション 部門出品

第27回 ブリチオン
国際ファンタスティック映画祭
最優秀アジア映画賞

第23回 TOホラー
ファンタスティック・フィルム フェスティバル
審査員特別賞

第24回 モンスターズ
タレント・ホラー・フィルム フェスティバル
最優秀監督賞

(第25回 上海国際映画祭 公式上映) (第14回 スラッシュ・フィルムフェスティバル 公式上映) (第16回 ジャパン・カット 公式上映) (第16回 レイザー・リール・ファンタース映画祭 コンペティション 部門出品)



2021年、日本で唯一のホラージャンルに絞った一般公募フィルムコンペティション「日本ホラー映画大賞」(主催: KADOKAWA)の初大賞受賞作品である本作が、長編となり遂に2024年に劇場公開を迎える。

主演は、今最も注目を集める俳優の一人で、若手俳優の中でも確かな演技力で評価の高い古川琴音。古川自身初めてのホラー映画への出演となる。メガホンをとるのは、「日本ホラー映画大賞」にて同名タイトルの短編映画として大賞を受賞した下津優太。商業映画監督デビューにして、早くも世界各国の映画祭で称賛を浴びており、今までに観たことのない斬新な恐怖の世界を創り上げた。そして、総合プロデュースを手掛けるのは、日本ホラー映画界の重鎮である清水 崇。



「誰かの不幸の上に、誰かの幸せは成り立っている」

人類の宿痾と言ってもいい根源的なテーマが根底に流れ、とある村を舞台に、この世界の特異な成り立ちに疑問を持った古川演じる主人公が行動を起こすも、逆にどんどん追い込まれていく様を描き、「この世界にはある法則が存在する。それを知らないと死ぬことになる…」という得体の知れない恐怖と対峙していく――。

強力なストーリー、独創的なアイデア、ダークユーモア、田舎暮らしという要素が、暗いホラー映画のレシピを完璧に完成させている。

（ブチオン国際ファンタスティック映画祭 最優秀アジア映画賞 受賞）

コントロールされた演出力をもつ下津優太は、Jホラーの伝統を受け継ぐにふさわしい監督である。

（Monsters Taranto Horror Film Festival 最優秀監督賞 受賞）



看護学生の孫は、ひょんなことから田舎に住む祖父母に会いに行く。久しぶりの再会、家族水入らずで幸せな時間を過ごす。しかし、どこか違和感を覚える孫。祖父母の家には「何か」がいる。そしてある時から、人間の存在自体を揺るがすような根源的な恐怖が迫ってくる…。

2023/日本/89分/ビスタ/5.1ch/カラー ©2023「みにに幸あれ」製作委員会 <https://movies.kadokawa.co.jp/minasachi/> @Minasachi_movie

第1回日本ホラー映画大賞
大賞受賞監督長編デビュー作！
プロデュースを手掛けたのは清水崇。